

### 一般質問(要旨)

#### ●質問者

9月14日(月)

川口 政弥

(自民県政クラブ)

安藤 真理子

(いばらき自民党)

島田 幸三

(いばらき自民党)

9月15日(火)

高橋 勝則

(いばらき自民党)

田村 けい子

(公明党)

中村 修

(いばらき自民党)

9月16日(水)

上野 高志

(日本共産党)

石田 進

(いばらき自民党)

本澤 徹

(いばらき自民党)

9月17日(木)

岡田 拓也

(いばらき自民党)

二川 英俊

(民主党)

石井 邦一

(いばらき自民党)



川口 政弥 議員  
自民県政クラブ  
取手市選出  
一括方式

#### 結婚支援の充実強化

議員 本県が常に自治体における結婚支援のトップランナーでいられるよう、今後、本県の結婚支援の充実強化に向けて、どのように取り組んでいくのか。

知事 いばらき出合いサポートセンターのPRやセンター会員へのサービス向上のほか、先進的なシステムの導入に向けた検討を進めていく。また、マリッジサポーターの増員や資質向上を図るほか、市町村間の連携などに取り組み、結婚支援の充実強化を図っていく。

#### 教員の資質向上に向けた取り組み

議員 教員の資質向上無しには、本県教育の質の向上はあり得ない。教員の資質の向上について、どのように取り組んでいくのか。

教育長 教員としての真の力量を見抜く人物重視の選考となるよう、採用試験の積極的な改善を行い、優秀な人材を確保するとともに、最新の教育事情を踏まえた教員研修の充実強化を図り、教員の資質の向上に努めていく。

(ほかに、利根町における水田の基盤整備事業、北浦川の整備なども質問)



いばらき出合いサポートセンターでのお見合いの様子



安藤 真理子 議員  
いばらき自民党  
土浦市選出  
一括方式

#### 女性の活躍推進

議員 働く女性の活躍推進のためには、家庭と仕事が両立できる環境の整備とともに、男女が互いに認め合いながら意識向上を図る必要があるが、今後の取り組みは。知事 多様なニーズに対応した保育サービスの充実を図るとともに、就業継続を可能とする環境の整備や女性のキャリアアップへの意識向上に一層力を入れて取り組む。また、男性の育児参画を促進するなど仕事上の不安を解消し、女性の働く意識向上を図っていく。

#### 国道三五四号土浦バイパスの整備

議員 国道三五四号土浦バイパスは、未整備の二車線区間があり渋滞が激しいが、土浦協同病院の開院によりさらに大混雑が予想される。四車線化整備の見通しは。

土木部長 事業区間の東側約半分は四車線化が完了した。続く常磐線跨線橋を含む約七百メートル区間は、残る用地取得に努め、今年度は用地確保できるところから工事を進める。さらに西側に続く区間は、来年度工事に着手したい。

(ほかに、レンコン産地の生産振興、認知症サポーターの活躍なども質問)



キャリアアップ講座の様子



島田 幸三 議員  
いばらき自民党  
小美玉市選出  
一括方式

#### 茨城国体への障がい者の参加

議員 昨年、「障害のある人もない人も共に歩み幸せに暮らすための茨城県づくり条例」を制定したことを踏まえ、茨城国体において、全国障害者スポーツ大会出場選手などによるエキシビジョン競技を実施できないかと考えるがどうか。

知事 各競技会終了後のエキシビジョンとして、全国障害者スポーツ大会の本県選手と健常者が一体となつて対戦する競技種目を設けられるかなど、競技団体や会場地市町村などと協議していく。

#### 茨城空港の活性化

議員 百里基地と協力し、空港、基地、空のえきそ・ら・らの周遊コースをつくることで、空港来場者の増加が図れると考えるが、空港活性化にどう取り組むのか。

企画部長 周遊について、小美玉市や基地とも連携し、モデルコースの提案や空港ビルでのPRなどを検討する。今後とも、多くの方に航空機を利用していただくことに、空港における賑わいづくりに取り組み、活性化を図っていく。

(ほかに、県道紅葉石岡線、県道上吉影岩間線の整備なども質問)



トラックを疾走する車いすランナー



高橋 勝則 議員  
いばらき自民党  
古河市選出  
一括方式

#### 茨城空港への国際線の誘致

議員 共用空港としての課題はあると思うが、東京オリンピック・パラリンピックなど、多くの訪日客が見込めるチャンスを最大限に活かすべきと考える。チャーター便を含めた国際線の誘致について、今後どのように取り組むのか。

知事 国際線の乗り入れについては、防衛省などとの協議が必要であることから、路線の拡大を望む声や地域にもたらす効果などについて説明をし、国への働きかけにも力を入れていく。

#### 国道三五四号バイパスの整備

議員 県道結城野田線の東側に当たる境岩井バイパスはもろろんのこと、西側についても優先して対応すべきと考えるが、所見は。

土木部長 西側のバイパス整備については、物流の効率化など一定の効果が見込まれる一方、多額な事業費が必要になるといった課題もあることから、事業区間の進捗や周辺の交通状況などを勘案しながら、事業化の検討をしていく。

(ほかに、子ども・若者支援地域協議会の設置、児童虐待への対応なども質問)



茨城空港に就航している国際線

#### 原子力発電関係道県協議会議長協議会が開催されました

本県を含む原子力発電関連施設が立地する、十三道県協議会の議長で構成される「原子力発電関係道県協議会議長協議会」が七月二十四日に開催されました。定期総会において会長県が本県から福井県に変わるとともに、同日、本県の細谷典幸議長を含む協議会会員議長は、高木陽介経済産業副大臣のほか、谷垣禎一自民党幹事長および池田克彦原子力規制庁長官を訪問し、原子力発電の安全確保などに関する要請書を提出しました。

要請において、細谷議長は原発事故などにより本県の観光や漁業が風評を払拭し切れていないことから「国が先頭に立って安全性についての情報発信を行っていただきたい」と求めたのに対し、高木副大臣は「国を挙げて風評被害の対策に取り組んでいく」と答えました。



高木陽介経済産業副大臣(右から3人目)に要請書を手渡す細谷典幸議長(右から1人目)